

ひらかた

交通まちづくりワークショップだより 1

発行：枚方市土木部土木総務課

発行日：平成 28 年 5 月 22 日

「交通の良いところ・悪いところ」を議論しました。

枚方市において、市の将来のまちのあり方を考えながら、枚方市の交通全般に関する計画である「枚方市総合交通計画」を策定します。

私たちは電車、バス、タクシー、自家用車、自転車や徒歩など様々な目的をもって様々な交通手段を利用しています。これから先、人口減少と超高齢社会が進展していく中で、安全、快適で利用しやすい交通環境の確保など、今後の都市交通のあり方を検討することが求められています。

枚方市では交通分野でできることを明らかにし、将来の世代に責任の持てる持続可能な交通社会をめざす場として『ひらかた交通まちづくりワークショップ』を開催します。ワークショップは 4 回に渡り、第一回・第二回目は、市内交通の現状と課題を把握します。また現地調査で実際に市内交通を体験します。第三回・第四回目は、市内交通の課題解決の方針や改善案を考えていきます。毎回、どんな意見が出るか楽しみです。

①第一回ワークショップ

第一回目は、「現状と課題の見える化①」というテーマで、4月23日(土)に開催され、27名のみなさんにご参加いただきました。

当日は、参加者相互に、市内の交通に関して日頃感じている印象や良いところ悪いところ、便利などころ不便なところなど率直な意見を出し合いながら、市内交通への理解を深める場となりました。

日時：平成 28 年 4 月 23 日(土)

10:00~12:00

場所：市役所別館 4 階会議室

参加人数：27 名

②第一回ワークショッププログラム

- 1) 開会のあいさつ
- 2) ワークショップの進め方
- 3) 『みんなで考えささえる公共交通』大阪大学コミュニケーションデザインセンター特任教授 土井勉氏より、交通について分かりやすく説明頂きました。



写真：土井 勉氏より交通に関する説明

4) 『枚方市を取り巻く現状と課題の把握』枚方市より、枚方市の交通に関する現状と課題について説明を行いました。



写真：枚方市より交通の現状と課題の説明

5) 『ワークショップ参加の視点』について、ワークショップ参加者へお聞きしました。ワークショップでは、歩行者・子育て・高齢者・障害者・子どもなどの利用者の立場を「大切にしたい」。また、「参加者みんなの意見を聞きたい」と多くの回答がありました。

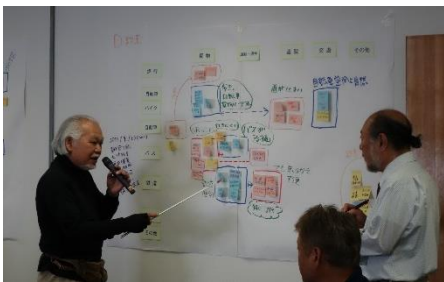
「グループワーク」で市内交通に関する意見交換を行いました。

6) 『グループワーク』では、A～E 班の5グループに分かれて、『日ごろ感じている市内の交通に関しての良いところ、悪いところなど意見交換』を行いました。



写真：グループワークの様子

7) 『グループワーク結果発表』では、各グループワークで出てきた意見をそれぞれ、一枚の模造紙にまとめ、グループの代表者より発表していただきました。



写真：各グループからの発表の様子

各グループの結果

A 班：自転車走行など交通ルールを理解していない。歩道が狭いため歩きにくい。バス・鉄道は駅前も広くアクセスも良い。



B 班：市内公共交通の便利が良い。南北に走る2本の鉄道沿線の便利は良いが東西方向の交通ラインは道路が狭いなどの課題がある。



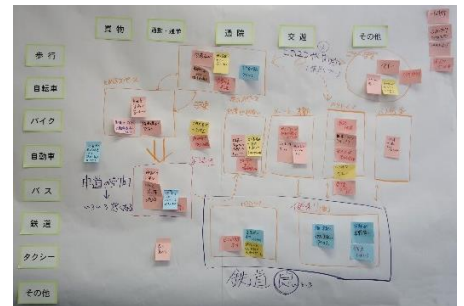
C 班：歩道が狭く、自転車走行が危険。地域によって交通機関の便利さに違いがある。東西方向をつなぐ交通軸が足りない。



D 班：鉄道は便利。道が狭く、歩きにくい。買物は便利である。国道1号はごみが多く落ちている。



E 班：自転車、自動車のための道路スペースが狭い。道路での歩行者、自転車のマナーが悪い。鉄道については便利である。



第一回交通まちづくりワークショップは活気ある有意義な意見交換の場となりました。〈市担当より〉

第二回ワークショップについて

日時：平成 28 年 5 月 22 日(日)
 テーマ：公共交通体験 現状と課題のみ見える化②／バスと電車を体験、前回意見の振り返りと課題解決に向けた検討

【ワークショップ問い合わせ先】

担当：枚方市 土木部 土木総務課
 〒573-8666 枚方市大垣内町 2 丁目 1-20
 TEL：050-7102-6505（直通）
 FAX：072-841-4605
 E-mail：dsoumu@city.hirakata.osaka.jp